

保存版

防災 ハザード マップ



令和7年8月発行

九重町

Kokonoe Town

指定避難所・
福祉避難所一覧
P1

避難情報
P2

特別警報&
防災情報の収集
P3

風水害・台風
P4

洪水
P5

水害に関する情報
P6

土砂災害
P7

地震による災害
P8

火山噴火への備え
P9

防災対策&チェック
P10

非常持ち出し品
P11

自主防災組織と
災害時要配慮者への支援
P12

避難時の注意点
P13

防災ハザードマップ
の見方
P14

九重町全体図
(索引図)
P15

ハザードマップ
P16 ~ 81

マイ・タイムラインの
作成
P82

緊急時の連絡
裏表紙



指定避難所・福祉避難所一覧



指定避難所

災害による家屋の倒壊などで、**居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として**、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、**交流センター・体育館・公共施設などを指定しています。**



各指定避難所の避難可能条件は次のとおりです。(○)避難可能 (▲)2階以上は避難可能 (x)避難不可 (ー)開設の予定なし

項番	施設名	電話番号 (0973)	所在地	災害種別			
				洪水	がけ崩れ 土石流及び 地すべり	地震	火山噴火
1	東飯田ふれあい交流センター	76-3116	恵良945-1	○	○	○	ー
2	九重町立東飯田小学校	76-2304	恵良938	○	○	○	ー
3	東飯田地区体育館	ー	恵良982	○	○	○	ー
4	九重町隣保館	76-2468	右田3088-2	▲	○	○	ー
5	九重文化センター	76-3888	後野上17-4	○	○	○	ー
6	九重町立このえ緑陽中学校	73-2661	後野上17-3	○	○	○	ー
7	野上地区体育館	ー	野上1322-1	x	x	○	ー
8	野上ふれあい交流センター	77-6810	右田740-52	○	x	○	ー
9	九重町役場	76-2111	後野上8-1	○	○	○	ー
10	九重町保健福祉センター	76-3838	後野上17-1	○	○	○	ー
11	九重町立野上小学校	77-6804	野上16-1	x	○	○	ー
12	九重町立野矢小学校	77-6885	野上3460-1	x	▲	○	ー
13	飯田ふれあい交流センター	79-2251	田野1624-123	○	○	○	○
14	飯田地区体育館	ー	田野1624-60	○	○	○	○
15	九重町立このえ飯田こども園	73-3590	田野1624-9	○	○	○	○
16	九重町コミュニティセンター (九重グリーンパーク内)	79-3620	田野204-1	○	x	○	○
17	九重町立飯田小学校	79-2253	田野1617-1	○	▲	○	○
18	南山田ふれあい交流センター	78-8801	引治1230-1	○	○	○	ー
19	九重町立淮園小学校	78-8812	菅原1274-1	x	○	○	ー
20	南山田地区体育館	ー	引治1230	x	○	○	ー
21	九重町立南山田小学校	78-8803	町田609	○	○	○	ー
22	九重町立このえみつばこども園	73-2555	引治508-1	○	○	○	ー



福祉避難所

福祉避難所は、一般の避難所では避難生活が困難な要配慮者のため、**バリアフリー機能(洋式トイレ、スロープ等)**を備え、福祉的サービス等が受けられるよう、あらかじめ町により指定された社会福祉施設等です。



各福祉避難所の避難可能条件は次のとおりです。(○)避難可能 (x)避難不可 (ー)開設の予定なし

項番	施設名	電話番号 (0973)	所在地	災害種別			
				洪水	がけ崩れ 土石流及び 地すべり	地震	火山噴火
1	シルバーランドメルヘン	76-2100	右田3156-7	○	○	○	ー
2	ケアポート溪和	78-8000	町田5481-3	x	○	○	ー
3	九重町社会福祉協議会	76-2500	後野上17-1	○	○	○	ー

発行: 九重町

制作・著作: 株式会社ゼンリン大分支店

作成: 令和7年8月

「この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号24-41号 平成24年8月3日)」

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 167-509号」 「JIS Z 8210避難所(建物)」

(禁無断複製)©2025 ZENRIN CO., LTD.

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

警戒レベルを用いた避難情報

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~				~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~	
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	2相当 氾濫注意情報	—————
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	—————

※市町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

※内閣府ホームページより抜粋、編集して掲載

### 自主避難について

#### 危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、町からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

## 避難に関する2つの情報

災害の危険性が高まった場合、市町村は避難に関する情報を発令します。

2種類の情報は状況の深刻度に応じて発令しますので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

※警戒レベル5(緊急安全確保)は、すでに災害が発生している状況です。直ちに命を守るための最善の行動をとってください。

### 警戒レベル3・高齢者等避難

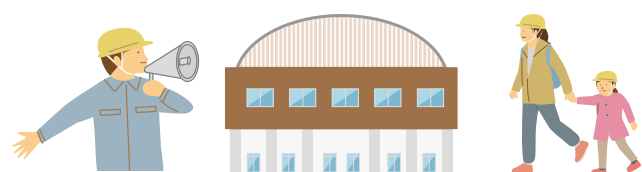
人的被害の発生する危険性が高まった状況。



- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意など避難の準備を始めます。

### 警戒レベル4・避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。



- まだ避難していない住民は直ちに避難します。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります。



# 特別警報&防災情報の収集

## 特別警報をご存知ですか？

特別警報は、気象庁が大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。普段からの備えと、早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

### ▶ 特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

### ▶ 緊急地震速報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地震(地震動)	震度6弱以上または長周期地震動階級4の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上または長周期地震動階級4)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(居住地域)*を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)

※噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報(居住地域)」(噴火警戒レベル4または5)を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報(居住地域)」(キーワード:居住地域厳重警戒)を特別警報に位置づけています。

### 特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨や津波などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

**「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。**  
特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。普段から避難所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁ホームページより抜粋、編集して掲載

## 防災情報の収集

### 命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ



インターネット・気象庁ホームページ



防災無線・広報車

### 大分地方気象台

気象情報・注意報、土砂・浸水・洪水キキクル、大雨・台風・津波・噴火情報などが確認できます。



### おおいた防災ポータル

大分県内の防災情報や道路規制情報、防災マップ(避難所、警戒区域等)が確認できます。



### おおいた防災アプリ

避難情報や気象情報をプッシュ通知で受け取ることができます。



### 県民安全・安心メール

大分県に関する防災情報をメールで受け取ることができます。



### 九重町ホームページ(防災・安全)

防災に関する情報・各種情報へのリンクが確認できます。



### 九重町ハザードマップ(WEB版)

お持ちのスマートフォン等で災害危険箇所や避難所等を確認できます。





# 風水害・台風

## 大雨注意報、警報、特別警報の発表のめやす

### 大雨注意報

災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報

### 大雨警報

重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報

### 大雨特別警報

台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に呼びかけて行う予報

## ▶ 雨の強さと降り方

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 10mm以上～20mm未満	1時間雨量 20mm以上～30mm未満	1時間雨量 30mm以上～50mm未満	1時間雨量 50mm以上～80mm未満	1時間雨量 80mm以上
ザーザーと降り、雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り、傘をさしていてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。側溝等があふれる。	バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

## ▶ 風の強さと吹き方

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～30m/秒未満	30m/秒以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。多くの樹木が倒れる。

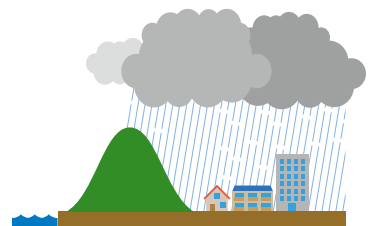
▶ 台風 日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさの階級	風速15m/秒以上の半径	強さの階級	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上



## ▶ 線状降水帯

「線状降水帯」とは、数時間にわたって発達した雨雲(積乱雲群)がほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ 50～300km 程度、幅 20～50km 程度の強い降水をともなう雨域を意味します。ひとたび「線状降水帯」が発生すると、わずか数時間で災害発生の危険度が急激に高まる場合があります。気象情報に十分注意し、「線状降水帯」に関する情報が発表されたら、ただちに身を守る行動をとってください。



※気象庁ホームページより抜粋、編集して掲載

## 防災対策の事例

- テレビやラジオなどの気象情報に注意する。
- 家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオ等を用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常持ち出し品を準備しておく。
- 危険な地域にお住まいの方は、いつでも避難できるよう準備をする。



# 洪水

## 川のはん濫

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

雨量の増加によってもたらされるはん濫には、川から水があふれたり、堤防が決壊して起こる「外水はん濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水はん濫」の2タイプがあります。

### ▶ 外水はん濫

大雨によって、河川を流れる水が大幅に増え、堤防が決壊したり、堤防から水があふれ出す現象です。



### ▶ 内水はん濫

排水能力を超える多量の雨が降り、排水が追い付かず土地や建物が水に浸かる現象です。



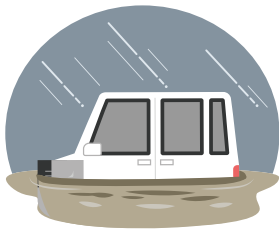
右記のような前触れに注意して、危険を感じたら速やかに避難しましょう。

- 堤防の川側が崩れ始めたとき
- 水かさが増し、堤防に亀裂が生じたとき
- 堤防の側面から水が漏れ出したとき
- 増水が早く、水が堤防を越えそうなとき
- 水が激流となって堤防の土が削り取られたり、護岸が壊れ始めたとき
- 堤防近くの地盤から水が噴き出すとき

## 大雨によって想定される被害

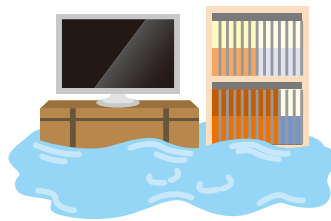
### ▶ 道路の冠水

エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。



### ▶ 床下・床上浸水

流れ込んでくる水は泥水であり、水がひいた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。



### ▶ 家屋の倒壊

河川沿いでは、家屋が倒壊する可能性があり、命の危険もあります。



## 洪水における避難のポイント

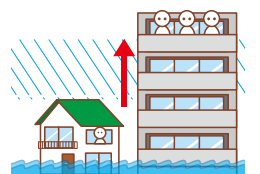
### ! 浸水が始まる前に早めの避難を

はん濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してからの自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



### ! 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



### ! やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、はん濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



### ! 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の様子は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子の確認は、ライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。





# 水害に関する情報

キキクル 危険度分布  
はこちらから



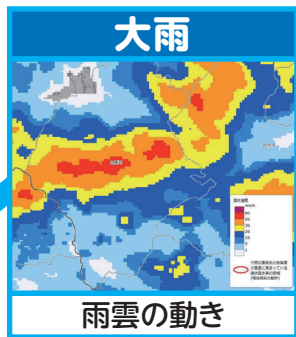
## キキクル(危険度分布)に関する情報

気象庁では、大雨による土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度をキキクル(危険度分布)のホームページで色分けして掲載しています。紫色は危険度が高いことを示しています。

※大分地方気象台より画像提供

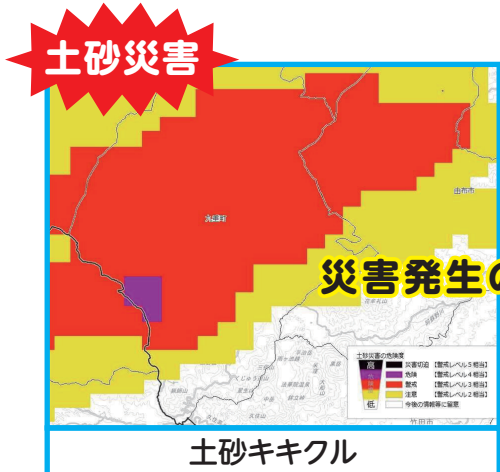
### 災害をイメージしやすいキキクル

大雨の降っている場所は「雨雲の動き」「今後の雨」で把握可能。  
しかし、**災害の発生する場所・時間とは必ずしも一致しない。**



その場では降っていなくても、  
上流の方で降っていたら…!

大雨の後かも知れない!



山や崖の近くが危ない!



周囲より低いところが危ない!



川の近くが危ない!

災害発生の危険度が高まっている場所を視覚的に確認

## 河川の水位に関する情報

※気象庁および大分県ホームページより抜粋、編集して掲載

<b>レベル5 はん濫発生(はん濫発生情報)</b>	松木川 (竜門橋)	町田川 (第一桐木橋)	野上川 (寺田橋)
九重町 緊急安全確保を発令			
住民 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保			
<b>レベル4 はん濫危険水位(はん濫危険情報)</b>	2.40m	2.60m	3.80m
九重町 避難指示の発令を判断し、状況に応じて発令			
住民 避難を完了			
<b>レベル3 避難判断水位(はん濫警戒情報)</b>	2.10m	2.40m	3.20m
九重町 高齢者等避難の発令を判断し、状況に応じて発令			
住民 避難を判断			
<b>レベル2 はん濫注意水位(はん濫注意情報)</b>	1.70m	2.20m	2.90m
住民 はん濫に関する情報に注意			
<b>レベル1 水防団(消防団)待機水位(発表なし)</b>	1.20m	1.10m	1.40m

普段の水位

※九重町が発令する避難情報は、状況に応じて既定の水位に達する前に発令することがあります。

### 川の防災情報

町内の河川には3箇所の水位観測所、10箇所の河川カメラが設置されています。  
常時、「国土交通省 川の防災情報」から河川の状況、水位を確認することができます。  
「国土交通省 川の防災情報」へは、右の二次元コードからアクセスしてください。



※国土交通省 川の防災情報



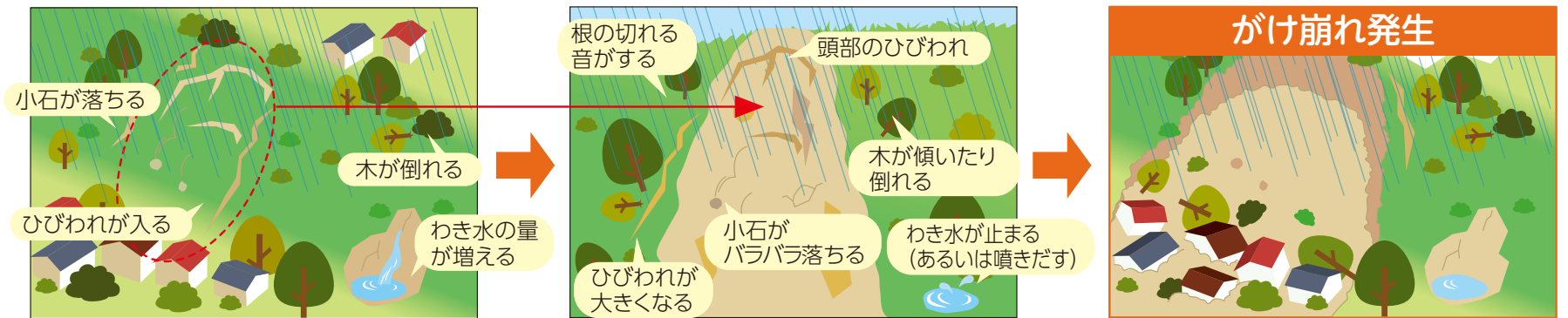
# 土砂災害

## 土砂災害

土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)が発表されていなくても、普段と異なる状況(土砂災害の前兆)に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

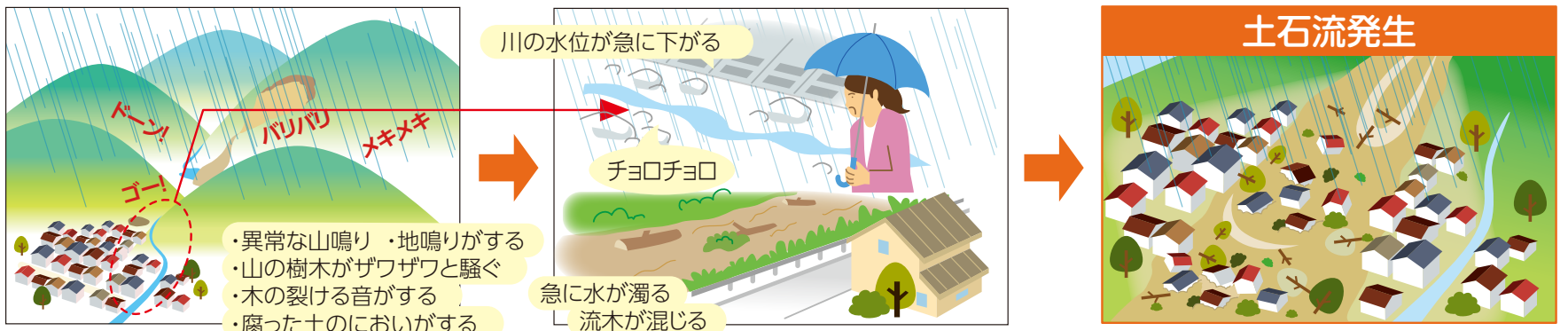
### ▶ がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



### ▶ 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40km という速度で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまいます。



### ▶ 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。



# 地震による災害

大地震が起きると「振動(揺れ)」「液状化」「土砂災害」「地震災害」などがほぼ同時に起こり、大きな被害が生じる恐れがあります。周囲の状況を判断して、まず自分自身の身の安全を確保し、消防署員及び消防団員、警察官などの指示に従って近所の人と一緒に徒歩(原則)で避難所等安全な場所に避難しましょう。

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル



### 地震発生

#### ●最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保……手近な座布団などで頭を保護



#### ●揺れがおさまったら

- 火元を確認……火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認……倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく……家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するとき……屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意

#### ●みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- |                                                               |                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●隣近所に声をかけよう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●要配慮者の安全確保……隣近所で助け合う</li> <li>●行方不明者はいないか</li> <li>●ケガ人はいないか</li> </ul>                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●出火防止 初期消火</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●初期消火……消火器を使う、バケツリレー、風呂の水はため置きをしておく</li> <li>●漏電・ガス漏れに注意</li> <li>●電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める</li> <li>●余震に注意</li> </ul> |



#### ●ラジオなどで正しい情報を得る

- 大声でけが人の確認
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

#### ●協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう ※3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集
- 無理はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

### 屋内にいた場合

#### 家の中

- 家庭では安全なスペースに避難。頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へとびださない。無理に火を消そうとしない。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

#### 集合住宅

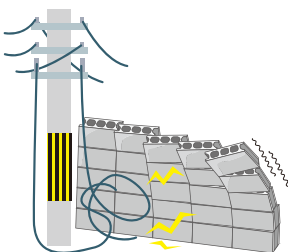
- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



### 屋外にいた場合

#### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



#### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。



# 火山噴火への備え

## 噴火警戒レベル

※気象庁ホームページより抜粋、編集して掲載

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び 登山者・入山者等への対応
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及びそれより 火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。
			4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域近く まで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。 登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等。
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口周辺の立入規制等。
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	住民は通常の生活。 状況に応じて火口内への立入規制等。

## 噴火に伴い発生する危険な現象

### 噴石

爆発的な噴火によって、火口から噴石が飛散し、生命への影響や建物の破壊につながります。

### 土石流

噴火によって、斜面や谷の上流に火山灰が積もったとき、その後の雨によって土石流が発生しやすくなります。



### 火山灰(降灰)

火山灰は粒子が細かいため上空の風に流されて風下側の広い範囲に降り積もります。大量に積もると建物が押しつぶされることがあります。

### 溶岩流

マグマが火口からあふれて斜面を流れ下る現象です。非常に高温で、通り道にある建物や樹木などは焼き尽くされ、埋もれてしまいます。

### 火砕流・火砕サージ

火砕流は、火口からの火山灰等が高温の火山ガスなどと一団となり、猛スピードで移動する現象です。また、火砕流の周辺には火砕サージと呼ばれる気体を中心とした高温の流れが発生することもあります。

## 大分県火山情報

大分県内にある火山の最新の活動状況などを確認することができます。日頃から火山活動の活動状況などを確認しておきましょう。

詳しくはこちらから



【大分県HP】  
火山防災のしおり  
(九重山)



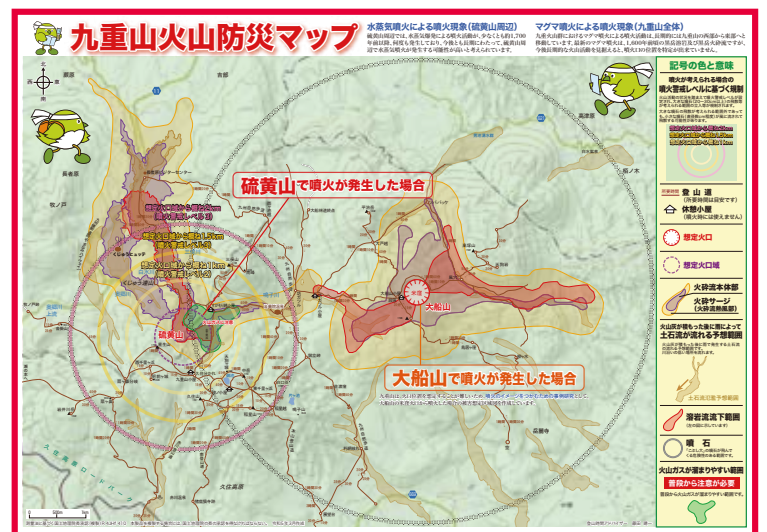
【大分県HP】  
大分県火山  
情報サイト



【気象庁HP】  
噴火速報



【気象庁HP】  
火山防災の日  
(特設サイト)



※大分県ホームページより

## 噴火が始まったら

避難路、避難場所の確認を前もって行い、避難する時は近所の人と一緒に、決められた場所へ避難しましょう。



気象庁が発表する火山情報に注意しましょう。



ラジオ・ニュース・新聞・町の広報などを聞いて正しい情報を得ましょう。



市町村から避難指示などがあった場合には従いましょう。



# 防災対策&チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

## 家の中の安全対策

### ☐ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。  
無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

### ☐ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。  
また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全にする。



### ☐ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもや、お年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



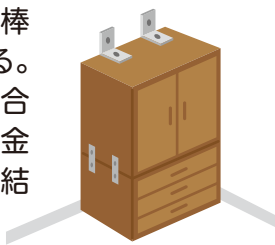
### ☐ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

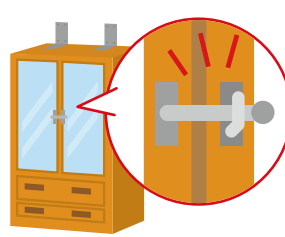
### ☐ タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



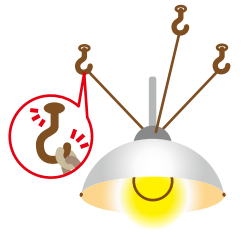
### ☐ 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



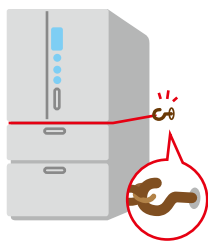
### ☐ 照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



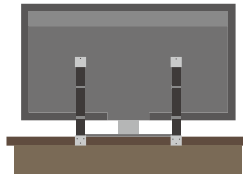
### ☐ 冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



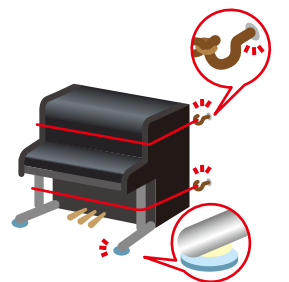
### ☐ テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



### ☐ ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

### ☐ 屋根

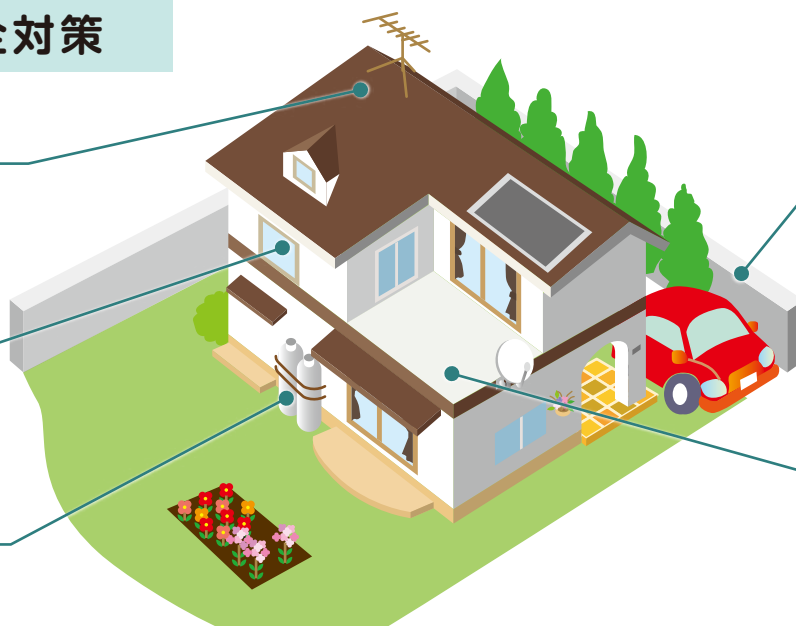
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### ☐ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

### ☐ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



### ☐ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### ☐ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。



# 非常持ち出し品

非常持ち出し品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持ち出し品と、災害から復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品を分けて用意しておきましょう。

## 非常持ち出し品

**POINT!!** 自分が使うもの(食料、防寒具、薬など)を持って避難しましょう。

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### あらゆる家庭に共通して必要なもの

<b>避難用具</b> <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備の乾電池 <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん	<b>救急医療品</b> <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 胃腸薬 <input type="checkbox"/> 風邪薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 包帯	<b>貴重品</b> <input type="checkbox"/> 現金、10円玉 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 権利証書	<b>衣料品</b> <input type="checkbox"/> 下着・靴下 <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット・雨具
<b>非常食品等</b> 火を通さないで食べられるもの、食器など <input type="checkbox"/> 非常用食品 <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> 紙コップ <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 栓抜き <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター	<b>生活用品</b> <input type="checkbox"/> 厚手の手袋 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> タオル・ハンカチ <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> トイレtpペーパー <input type="checkbox"/> ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う) <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> 防災ハザードマップ(本冊) <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 万能ナイフ・ハサミ <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ <input type="checkbox"/> ゴミ袋		

### 家族構成や家族の事情にあわせて必要なもの

<b>女性向け用品</b> <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 化粧品 <input type="checkbox"/> 鏡・ブラシ等 <input type="checkbox"/> 女性用下着	<b>乳幼児向け用品</b> <input type="checkbox"/> 母子手帳 <input type="checkbox"/> ミルク・離乳食 <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき	<b>子ども向け用品</b> <input type="checkbox"/> おもちゃ <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー	<b>高齢者向け用品</b> <input type="checkbox"/> 介護用品 <input type="checkbox"/> めがね <input type="checkbox"/> 入れ歯・洗浄剤 <input type="checkbox"/> 持病薬・補装具
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**CHECK!!** 自分にとっては絶対必要!というものを準備しましょう。

## 非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

<b>飲料水</b> <input type="checkbox"/> 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に) <input type="checkbox"/> 貯水した防災タンクなど	<b>非常食品</b> <input type="checkbox"/> お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・飴(菓子類など)	<b>燃料</b> <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料	<b>その他</b> <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど <input type="checkbox"/> 調理器具(なべ・やかんなど) <input type="checkbox"/> バケツ・各種アウトドア用品など
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 感染症対策のために～非常用持ち出し袋に追加すべき物～

非常食や飲料水などだけでなく、感染を予防するため、こうした持ち物も事前に非常用持ち出し袋に入れておくようにしましょう。

- マスク
- ウェットティッシュ
- 記録用ノート
- 石鹸・ハンドソープ
- 手指消毒用アルコール
- 筆記用具
- 体温計
- 家庭での常備薬
- ビニール袋(大小)

※非常用持ち出し袋は、家族全員がわかる場所に保管しましょう。

非常持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

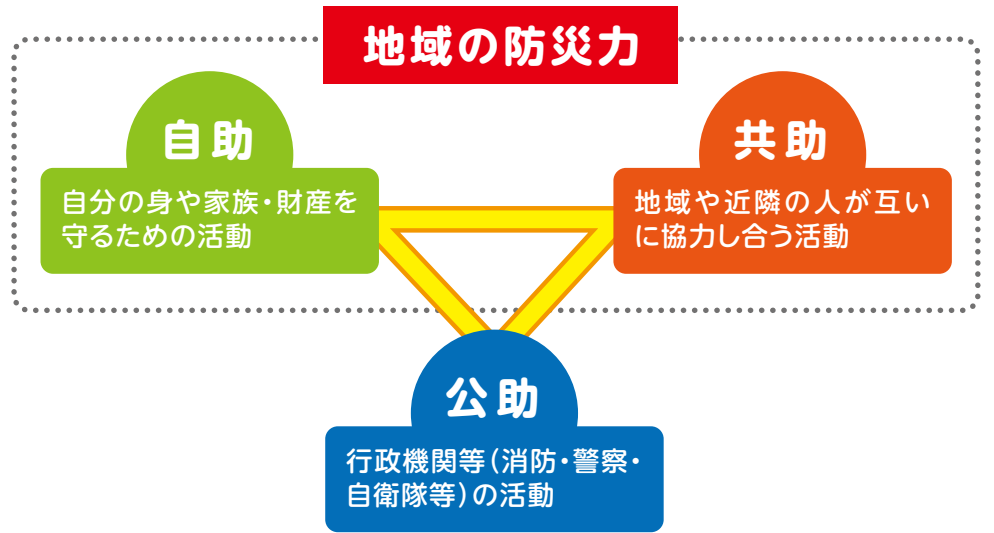




# 自主防災組織と災害時要配慮者への支援

## 地域防災力

災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することができます。ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動（公助）は交通網の寸断やマンパワー不足により十分対応できない可能性があるため、「自分の身は自分で守る（自助）」とともに、「地域での助け合い（共助）」による地域防災力が重要となります。



## 自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

### 平常時の活動

- **作ろう、参加しよう、育てよう!** 日頃の付き合いがある隣組や自治会などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。
- **みんなで学ぼう!** 防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。
- **地域を点検しよう!** 地域の皆さんで事前に避難所や避難経路を確認、点検しましょう。
- **訓練をしよう!** いざというときに正しい行動が取れるように、災害の発生を具体的に想定した防災訓練を定期的に行いましょう。



### 災害時の活動

- **初期消火活動** 火が天井にまわるまでには消火器などを用いた初期消火が可能。
- **避難誘導** 高齢者や障がいがある方々などへの避難支援。
- **救出・救助** 被災者の救出、救護所への搬送。
- **情報の収集・伝達** 災害に関する正しい情報の収集とその伝達。
- **避難所の管理・運営** 水や食料などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動。



## 災害時要配慮者への支援

### ▶ 高齢者や病気などの方

お年寄りや病気の方、子どもなどは、早めの避難が必要です。みなさんと協力して避難しましょう。



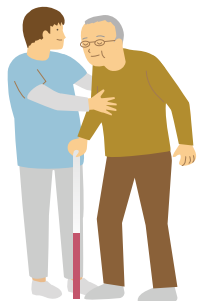
### ▶ 耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



### ▶ 目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらい、ゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。



### ▶ 体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で! 昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。



### ▶ 日本語の不自由な外国人の方

日本語での情報が十分理解できない場合があるため、平易なわかりやすい表現で危険を伝え、避難誘導しましょう。



### ▶ 妊婦や乳幼児がいる家庭

出産に向けた心身の健康状態を良好に保つため、生活環境などに配慮しましょう。乳幼児は感染予防や体温保持などに配慮しましょう。



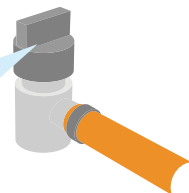


# 避難時の注意点

## ▶戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行きましょう。火災などの二次被害を防ぐために、できるだけ電気のブレーカーを落としたり、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。

閉栓



## ▶メモを残す!

外出中の家族へは、避難先を書いた伝言メモを目立つところに残しておきましょう。



## ▶速やかに避難を!

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。避難時の持ち出し品は、必要最小限になるようまとめましょう。



## ▶車での避難は控える!

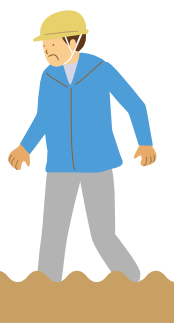
緊急車両の通行の妨げになります。浸水すると動けなくなりますので危険です。



## 洪水・土砂災害での避難の仕方

### ▶歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう!



### ▶履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴が良いでしょう。



### ▶ロープでつながる!

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう! また、水面下には危険が潜んでいます。長い棒を杖がわりに安全確認をしてください。



## もしも、土石流に遭遇したら

### 逃げ方に注意しましょう!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



## 避難の心得

### ▶避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、「**自分の命は自分で守る**」という意識を持って行動しましょう。

### ▶命を守る最低限の行動を

危険な状況の中での避難は出来るだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定避難所への移動だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

#### 具体的には

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる。
- 河川のはん濫により、浸水の危険がある地域に住んでいる。
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいる。

#### 具体的には

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している。(約50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い。
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

気象情報や町の避難情報に注意し、早めの避難を心がけてください。

危険な状況では、自宅や近隣建物の2階以上へ(土砂災害の場合は、斜面から離れた部屋など)緊急に一時避難し、救助を待つことも検討してください。





# マイ・タイムラインの作成

大雨や台風などの風水害から身を守るためには、自分が住む地域の災害リスクを知り、防災気象情報を基に迅速かつ適切に避難することが重要です。事前にマイ・タイムラインを作成し、「避難スイッチ」をオンにするタイミングなどを整理しておきましょう。

## マイ・タイムラインとは

災害に対する事前の備えや、大雨・台風により浸水害や洪水、土砂災害などが発生する危険性が高まった時の避難開始のタイミング「避難スイッチ」などを、あらかじめ時系列に整理した【自分自身や家族の避難行動計画】です。



記入例

## マイ・タイムライン作成例

マイ・タイムラインの対象とする災害は、【進行型災害】を基本としています。マイ・タイムラインの策定にあたっては、災害対応時の想定外の事態を減らすため、最悪の状況を含む災害を想定することが大切です。

### ▶ 進行型災害

洪水や台風など、発生やその被災状況が一定程度予測できる災害。



警戒レベルと警戒レベル相当情報 (防災気象情報)				
警戒レベル1 早期注意情報 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 気象状況が悪化 はん濫注意情報	警戒レベル3 高齢者等避難 災害のおそれあり 警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 はん濫警戒情報	警戒レベル4 避難指示 災害のおそれが高まっている 警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 高潮警報	警戒レベル5 緊急安全確保 災害発生または切迫 警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 はん濫発生情報 高潮はん濫発生情報
警戒レベルに応じた家族の行動				
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
○天気予報を確認 ○台風の進路やいつ接近するのかチェック ○薬などを事前に受け取っておく	○ハザードマップで避難場所を確認 ○非常持ち出し品の準備 ○テレビやラジオで気象情報をこまめにチェック	わが家の避難スイッチ! 警戒レベル3発令後に必ず避難する!! ○家族で決めた避難場所の高台にある叔母の家に移動を開始!	○避難完了 ○引き続き気象情報を確認	⚠ 自宅内の安全な場所へ避難 ⚠ 2階以上に避難
日頃から調べておくこと、備えておくこと				
わが家の災害リスク・避難先	非常持ち出し品	情報収集ツール		
<input type="checkbox"/> 浸水する深さ 想定 ( 3 )m <input type="checkbox"/> 近隣河川までの距離 ( 250 )m <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域に入って ( いる / いらない ) <input type="checkbox"/> 避難先① ( 叔母さんの家 )まで、徒歩/車で ( 10 )分 <input type="checkbox"/> 避難先② ( ○○公民館 )まで、徒歩/車で ( 7 )分 <small>※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上)</small> <input type="checkbox"/> 避難先までの危険な場所・特徴 ( ) ( ) ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 食料品 <input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input checked="" type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 紙オムツ <input type="checkbox"/> ビニール手袋	<input checked="" type="checkbox"/> 飲料水 <input checked="" type="checkbox"/> 毛布 <input checked="" type="checkbox"/> マスク <input checked="" type="checkbox"/> 防災ハザードマップ <input checked="" type="checkbox"/> 常備薬 <input checked="" type="checkbox"/> お薬手帳 <small>※忘れてませんか? □ 常備薬 □ お薬手帳</small> <small>↓その他に準備する物も書いておこう!</small> <input type="checkbox"/> 貴重品 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> 防災ラジオ <input type="checkbox"/> ドッグフード <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input checked="" type="checkbox"/> おおいた防災アプリ <input checked="" type="checkbox"/> 県民安全・安心メール/市町村防災メール <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> 防災ラジオ <input checked="" type="checkbox"/> 大分地方気象台HP <input checked="" type="checkbox"/> おおいた防災ポータル <input type="checkbox"/>	

## マイ・タイムラインの作成方法

- ・我が家の災害リスクを知りましょう
- ・非常持ち出し品を決めておきましょう
- ・情報収集方法を調べて備えましょう
- ・警戒レベルと警戒レベル相当情報を理解しましょう
- ・自分や家族の行動を決めておきましょう

警戒レベルと警戒レベル相当情報 (防災気象情報)				
警戒レベル1 早期注意情報 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 気象状況が悪化 はん濫注意情報	警戒レベル3 高齢者等避難 災害のおそれあり 警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 はん濫警戒情報	警戒レベル4 避難指示 災害のおそれが高まっている 警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 高潮警報	警戒レベル5 緊急安全確保 災害発生または切迫 警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 はん濫発生情報 高潮はん濫発生情報
警戒レベルに応じた家族の行動				
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
		もうすぐ避難開始!		⚠ 自宅内の安全な場所へ避難 ⚠ 2階以上に避難
日頃から調べておくこと、備えておくこと				
わが家の災害リスク・避難先	非常持ち出し品	情報収集ツール		
<input type="checkbox"/> 浸水する深さ 想定 ( )m <input type="checkbox"/> 近隣河川までの距離 ( )m <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域に入って ( いる / いらない ) <input type="checkbox"/> 避難先① ( )まで、徒歩/車で ( )分 <input type="checkbox"/> 避難先② ( )まで、徒歩/車で ( )分 <small>※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上)</small> <input type="checkbox"/> 避難先までの危険な場所・特徴 ( ) ( ) ( )	<input type="checkbox"/> 食料品 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 紙オムツ <input type="checkbox"/> ビニール手袋	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 防災ハザードマップ <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <small>※忘れてませんか? □ 常備薬 □ お薬手帳</small> <small>↓その他に準備する物も書いておこう!</small> <input type="checkbox"/> 貴重品 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> 防災ラジオ <input type="checkbox"/> ドッグフード <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> おおいた防災アプリ <input type="checkbox"/> 県民安全・安心メール/市町村防災メール <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> 防災ラジオ <input type="checkbox"/> 大分地方気象台HP <input type="checkbox"/> おおいた防災ポータル <input type="checkbox"/>	

大分県のホームページからマイ・タイムラインの詳しい作り方の確認ができます。 →



